

第4回日本脳ドック研究会

The 4th Annual Meeting of "The Japanese Society
for the Detection of Asymptomatic Brain Disease"

プログラム/抄録集

会長 山 田 弘

(岐阜大学脳神経外科)

1995年6月17日(土)～18日(日)

岐阜(下呂)水明館

第4回日本脳ドック研究会

プログラム / 抄録集

第4回日本脳ドック研究会会長 山田 弘

会 期 平成7年6月17日(土)～18日(日)

会 場 下呂温泉 水明館
〒509-22 岐阜県益田郡下呂町
TEL 0576-25-2800

事務局 岐阜大学医学部脳神経外科
〒500 岐阜市司町40
TEL : 058-267-2348 (直通)
FAX : 058-265-9025

研究会期間中本部 下呂温泉 水明館
TEL : 0576-25-2800

世 話 人

朝倉 哲彦	太田 富雄	小林 祥泰	桜井恒太郎
篠原 幸人	高倉 公朋	館野 之男	田中 隆一
赫 彰郎	東儀 英夫	戸谷 重雄	端 和夫
早川 徹	福井 仁士	藤島 正敏	松本 圭蔵
丸山 勝一	宮坂 和男	山口 武典	山田 弘
吉本 高志			

幹 事

中川 俊男 藤原 悟

(敬称略：五十音順)

ご 挨拶

第4回日本脳ドック研究会を岐阜の地にて開催させていただくことになり、教室員共々、誠に光栄なことと心を新たに致しております。近年、MRI、MRA、3D-CT、SPECT等診断機器のめざましい進歩と、脳卒中の病態が解明され脳卒中の危険因子までが明確にされるようになり、脳健康診断が試みられる様になりました。すでに我国では「人間ドック」が普及していましたので、これにならっていわゆる「脳ドック」が多くの施設で行われるようになりました。第3回までの脳ドック研究会で報告されましたように、かなりの数の無症候性脳梗塞、未破裂脳動脈瘤、無症候性頭蓋内占拠病変等が発見されていますが、病変が発見されなかった人は本当に安全なのか、いつまで安全なのか、「脳ドック」でどこまで検査するのがよいのか、発見された病変にどの様に対処したらよいのか、検査結果が脳疾患の予防にどの程度有効か、等々問題点は多いものと思われまます。

今回の研究会では「脳ドックの現状と展望」を主題にあげさせていただきました。「脳ドック」および受診者の資料の蓄積、解析は勿論必要ですが、「脳ドック」の現状、諸問題を把握し、将来どのように改善するかの指針にしていだきたいと思った訳であります。シンポジウムとして「脳ドックにおけるMRアンジオグラフィーの役割」及び「脳ドック実施施設における現状」の2つをあげさせていただきました。また、高倉公朋教授にお願いして「脳ドックの将来」と題する特別講演を計画いたしました。今回はシンポジウム、一般演題を含めて計105題の応募をいただきました。このため2会場を使用せざるを得なくなり、また1日半の会期が必要となりまして、会員の皆様にご迷惑をおかけすることになりました。今回の研究会で脳ドックの現状と展望について十分討論していただき、実りある研究会にさせていただくよう期待しています。

この度は、岐阜県下呂町で研究会を開催させていただきますが、岐阜県では岐阜県立下呂温泉病院で最初に脳健康診断、「脳ドック」が行われ検査数も多いからであります。また、下呂は有馬、草津とならんで日本三名泉の一つに数えられる温泉であります。伝説によると下呂温泉の歴史は古く、一時、大地震で温泉がとまったとされていますが、再度泉源が発見されたのは文永二年（1265年）のことで、傷ついた白鷺がこの温泉で傷をいやして温泉があることを村人に教えたといわれています。

研究会の合間に名湯につかり日頃のお疲れをいやしていただければ幸いです。

第4回日本脳ドック研究会

会 長 山 田 弘

参加者へのお知らせとご案内

1. 会 場

- A会場 朝陽の間：一般演題、特別講演、シンポジウム、サテライトセミナー
B会場 緑風の間：一般演題、ビデオ

2. 登 録

① 受付時間

6月17日(土) 7:30~18:00、18日(日) 7:30~11:00
(6月16日(金) 16:00~18:00 会員の参会受付を行います。)

② 受付場所

下呂温泉 水明館 総合受付

③ 参 会 費

プログラムに綴じ込んである参会者カードに氏名、所属をご記入の上、参会費10,000円とともに受付に提出し、ネームカードをお受取下さい。ネームカードのない方の入場はお断りいたします。

④ 専門医の登録

本会は、日本脳神経外科学会生涯教育クレジットの対象となっておりますので、脳神経外科専門医の方は忘れずに参会者カードに番号をご記入下さい。

⑤ 新入会員受付

新入会員受付にて所定の手続きをおとり下さい。(入会金 2,000円)

3. プログラム／抄録集

各自ご持参下さい。当日ご希望の方には、受付にて実費(一部 1,000円)で販売いたしますが、数に限りがございますのでご了承下さい。

4. 昼食案内

会期第一日目昼食のみ用意しております。

5. 懇 親 会

平成7年6月17日(土) 午後6時30分よりB会場にて行います。
会費は無料です。

6. レディース プログラムご案内

6月17日(土)、高山市内・乗鞍観光(予定)
参加ご希望の方は折込み葉書にて、お申し込み下さい。

発表者へのお願い

1. 発表時間

一般演題：講演時間は6分、討論は2分です。座長の指示にしたがって、
指定された時間内での発表をお願い申し上げます。

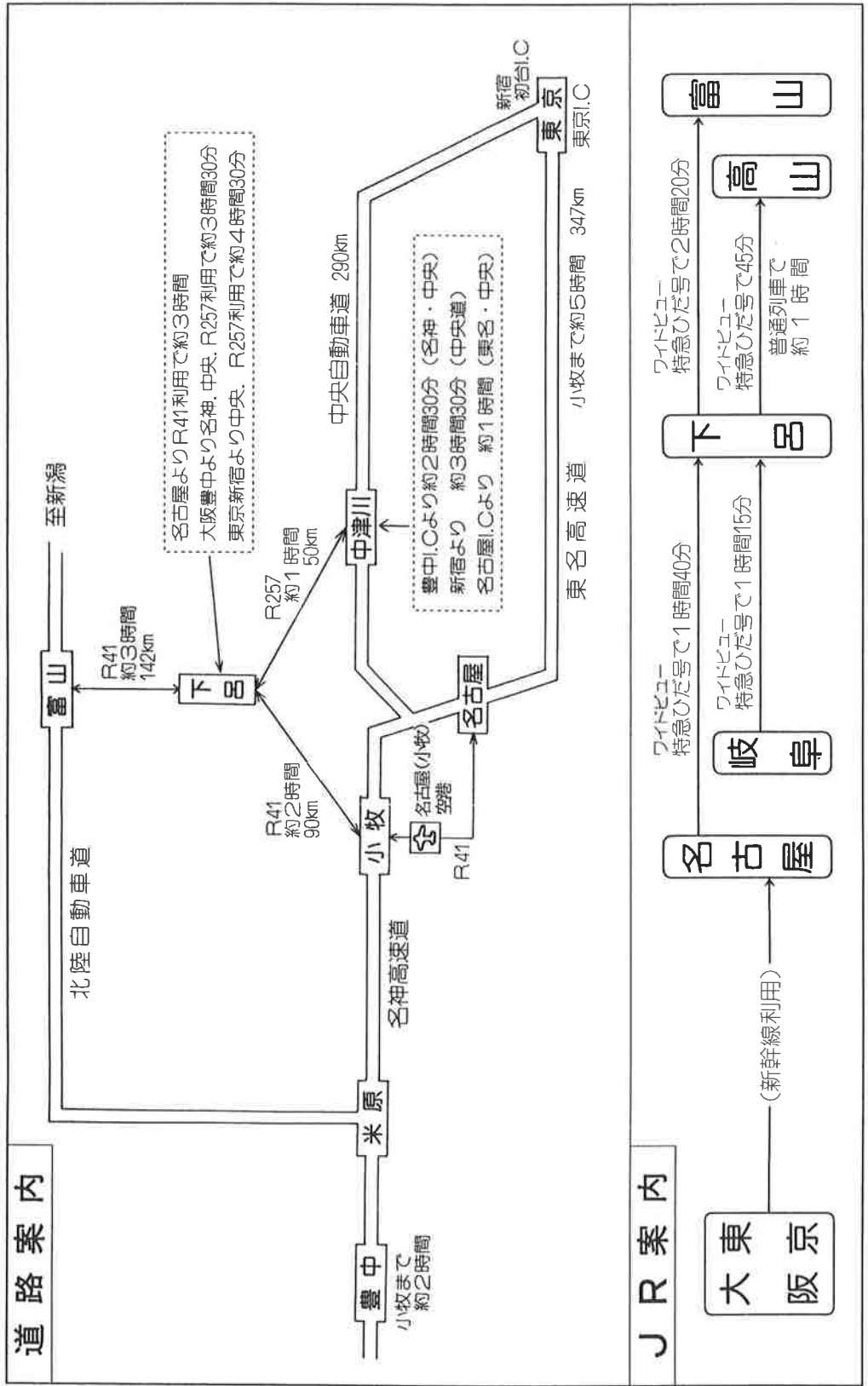
シンポジウム：講演時間は8分です。

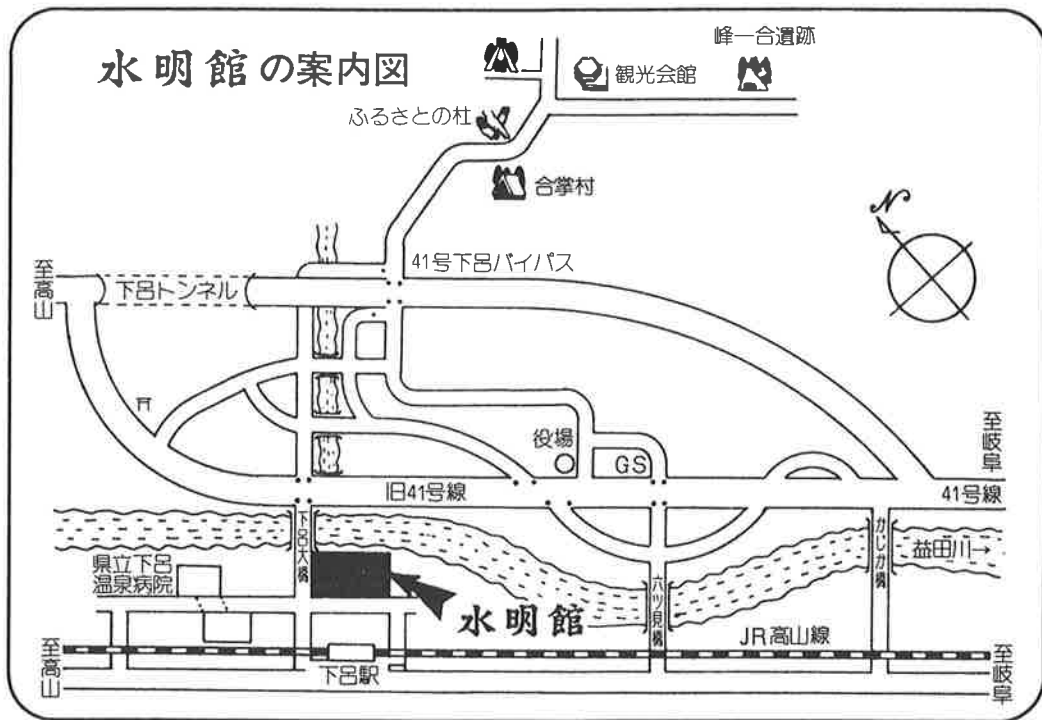
2. スライド

- ① 一般演題は35mmプロジェクターを1台用意致します。
- ② シンポジウムは35mmプロジェクターを2台用意致します。
- ③ 演者は、発表時間の1時間前までに各会場スライド受付に
スライドを提出して下さい。
- ④ スライドは講演終了後、速やかに受領証と引換にお受取下さい。

3. 演者は前演者の登壇と同時に次演者席にご着席下さい。

会場(下呂温泉)への交通機関



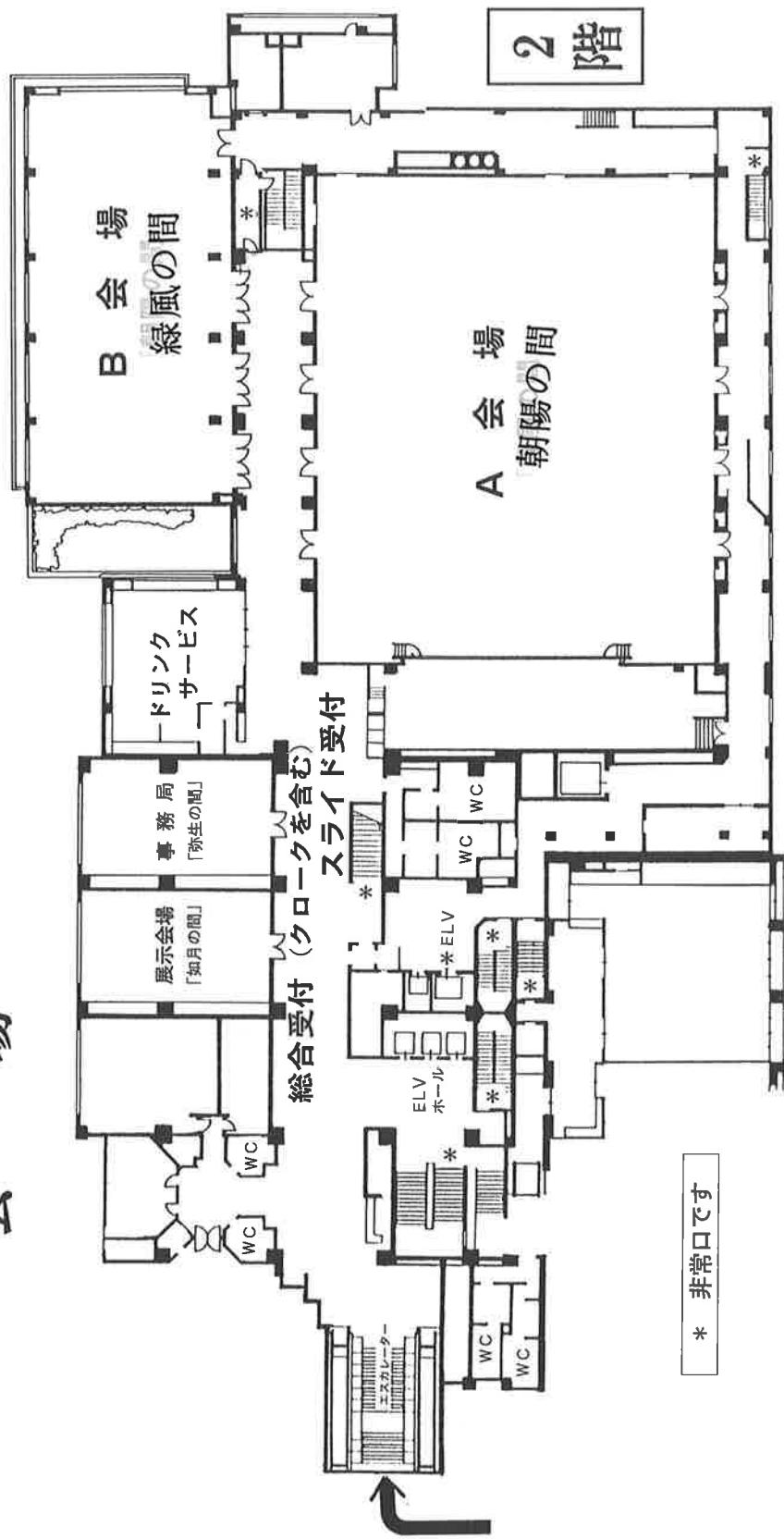


J R 高山線 時刻表

往 路			復 路		
名古屋 12:40	ひだ7号	下 呂 14:12	下 呂 08:20	ひだ2号	名古屋 09:38
名古屋 14:40	ひだ9号	下 呂 16:18	下 呂 08:49	ひだ4号	名古屋 11:07
名古屋 13:40	ひだ11号	下 呂 15:16	下 呂 10:36	ひだ6号	名古屋 12:19
名古屋 16:40	ひだ13号	下 呂 18:14	下 呂 12:08	ひだ9号	名古屋 13:46

富 山 08:20	ひだ6号	下 呂 09:44	下 呂 10:14	ひだ1号	富 山 12:21
富 山 12:43	ひだ12号	下 呂 15:03	下 呂 12:08	ひだ5号	富 山 14:15
富 山 14:49	ひだ14号	下 呂 17:04	下 呂 14:17	ひだ7号	富 山 16:27
富 山 15:52	ひだ16号	下 呂 19:10	下 呂 16:17	ひだ11号	富 山 18:30

— 会場 —



* 非常口です

日程のご案内

日 程 表

平成 7 年 6 月 17 日 (土) 第 1 日目

A 会 場 (朝陽の間)		座 長	B 会 場 (緑風の間)		座 長
8:25	開会の辞	山田 弘	8:30	動脈瘤 I (B1~4) (診断)	神野哲夫
8:30	無症候性脳梗塞 I (A1~5) (一般)	赫 彰郎	9:02	動脈瘤 II (B5~9) (自然経過等)	田中隆一
9:10	無症候性脳梗塞 II (A6~10) (白質病変)	小林祥泰	9:42	頸部動脈閉塞性病変 (B10~13) (MRA)	島 健
9:50	無症候性脳梗塞 III (A11~14) (脳室周囲病変)	丸山勝一	10:14	頸部動脈閉塞性病変 (B14~18) (3D-CT)	和賀志郎
10:22	無症候性脳梗塞 IV (A15~18) (危険因子)	米増祐吉	10:54		
10:54					
11:00	特別講演 高倉公朋 『脳ドックの将来』	山田 弘			
12:00	サテライトセミナー 「最新MR情報」	中川俊男 藤原 悟			
13:30	MRA I (A19~22)	朝倉哲彦	13:30	動脈瘤 III (B19~23) (3D-CT)	斎藤 勇
14:02	MRA II (A23~26)	館野之男	14:10	無症候性脳梗塞 V (B24~27) (血小板凝集能等)	森 惟明
14:34	動脈瘤 IV (A27~30) (手術適応)	松本圭蔵	14:42	高次脳機能 (B28~33)	金子満雄
15:06	動脈瘤 V (A31~34) (手術成績等)	菊池晴彦	15:30		
15:38	動脈瘤 VI (A35~38) (手術成績等)	高久 晃			
16:10					
16:25	シンポジウム I (SI-1~8) 「脳ドックにおける MRAの役割」	吉本高志 戸谷重雄			
18:20			18:30	懇親会	

平成7年6月18日(日) 第2日目

A 会場(朝陽の間)		座長	B 会場(緑風の間)		座長
8:30	頸椎病変 (A39~42)	角家 暁	8:30	無症候性疾患 (B34~37) (腫瘍等)	久保田紀彦
9:02	脳ドックの現状 (A43~48)	太田富雄	9:02	血管腫・脳出血等(B38~41)	中川 洋
9:50	シンポジウムⅡ (SⅡ-1~8) 「脳ドック実施施設に おける現状」	端 和夫 篠原幸人	9:34		
11:35	閉会の辞	山田 弘			

第4回 日本脳ドック研究会

A 会 場

平成7年6月17日(土) (第1日目)

開会の辞 (8:25~8:30) 会長 山田 弘

無症候性脳梗塞 I (一般) (8:30~9:10) 座長 赫 彰郎

A-1 潜在性脳梗塞の経年変化

島根医科大学 第三内科 岡田和悟

A-2 脳ドックにおける無症候性脳梗塞発現率について

日本医科大学 第二内科 高橋真理子

A-3 岐阜県加茂郡白川地区における脳ドック再受診者の検討
— 低磁場MRI装置を用いて —

白川病院脳神経外科 上田竜也

A-4 脳ドック受診者における無症候性脳梗塞の検討

— MRAの有用性について —

聖隷浜松病院附属健康診断センター 武藤繁貴

A-5 脳ドックにおける脳卒中発症調査 (第三報)

島根医科大学 第三内科 小林祥泰

無症候性脳梗塞 II (白質病変) (9:10~9:50) 座長 小林 祥泰

A-6 T2強調MR像における白質高信号域の疫学的意義

山梨医科大学 脳神経外科 堀越 徹

A-7 脳ドック125例の脳深部白質病変について係数化による分類

西宮協立脳神経外科病院 北村純司

- A-8 無症候性脳梗塞の診断におけるFluid Attenuated Inversion Recovery (FLAIR)法の有用性
愛知県厚生連海南病院 脳神経外科 山本直人
- A-9 無症候性脳梗塞におけるXe-CTの役割
春日部秀和病院 中岡 勤
- A-10 脳ドックにおけるSPECT検査の意義
宇部興産中央病院 脳神経外科 黒川 泰

無症候性脳梗塞Ⅲ (脳室周囲病変) (9:50~10:22) 座長 丸山 勝一

- A-11 脳ドックにおけるMRI T2画像脳室周囲高信号域発生に關与する因子と臨床的意義の検討
慶應義塾大学 脳神経外科 堀口 崇
- A-12 脳ドック受診者の加齢性脳萎縮における個人差および脳室周囲高信号域の影響
島根医科大学 第三内科 徐 江
- A-13 脳ドックでみられる白質病変に關与する因子の研究
山中湖クリニック画像診断センター 神経内科 高木 繁治
- A-14 脳ドックにおける無症候性脳梗塞の危険因子の検討
慶應義塾大学 脳神経外科 堀口 崇

無症候性脳梗塞Ⅳ (危険因子) (10:22~10:54) 座長 米増 祐吉

- A-15 Lacuna infarctionのリスクファクターの検討
千葉大学 脳神経外科 久保田基夫
- A-16 脳血管障害患者の血中リポ蛋白(a)濃度について
— 危険因子としての有用性 —
木沢記念病院 脳神経外科 出口一樹

A-17 脳ドック例におけるMRA上の動脈硬化性変化

— 動脈硬化危険因子との関係 —

山梨医科大学 脳神経外科 宮沢伸彦

A-18 ウィリス動脈輪周囲の閉塞性病変に対するMRAの有用性

河井病院 脳神経外科 轟木耕司

特別講演 (11:00~12:00)

座長 山田 弘

『脳ドックの将来』

東京女子医科大学 脳神経外科 教授 高倉公朋 先生

サテライトセミナー (12:00~13:30)

座長 中川俊男 藤原 悟

『最新MR情報』

MRA I (13:30~14:02)

座長 朝倉 哲彦

A-19 当院における外来患者のMRAを用いた未破裂脳動脈瘤の
スクリーニング

小倉記念病院 脳神経外科 定永 浩

A-20 MR Angiography による脳動脈瘤の診断IV

戸田中央総合病院 竹山英二

A-21 MRAによる前交通動脈瘤の診断

呉共済病院 脳神経外科 柚木正敏

A-22 内頸-後交通動脈/前脈絡叢動脈分岐部動脈瘤とInfundibular
dilatationのMRAでの比較検討

那須脳神経外科病院 内田幹人

MRA II (14:02~14:34)

座長 館野 之男

- A-23 MR angioによる脳ドックの現状—機種による画像の比較
昭和大学 脳神経外科 花川 一郎
- A-24 FINE MRAの試み
京都工場保健会 谷池 圭子
- A-25 MRアンギオで見逃された脳動脈瘤3症例の経験
山形市立病院済生館 脳神経外科 天笠 雅春
- A-26 MRAにて発見された硬膜動静脈奇形の2例
兵庫県立淡路病院 脳神経外科 丸本 朋稔

動脈瘤IV (手術適応) (14:34~15:06)

座長 松本 圭蔵

- A-27 「脳ドック」における未破裂脳動脈瘤の手術適応
— 動脈瘤サイズについての検討 —
新さっぽろ脳神経外科病院 中川 俊男
- A-28 未破裂脳動脈瘤の治療指針 — Clip難易度の判定 —
函館赤十字病院 脳神経外科 松崎 隆幸
- A-29 未破裂脳動脈瘤の予防的手術に関する決断分析的検討
北里大学医学部 救命救急医学 青木 則明
- A-30 脳ドック受診者と医者、看護婦の悩み・問題点多発病変を持った
— 症例から学んだこと —
西宮協立脳神経外科病院 北村 純司

動脈瘤 V (手術成績等) (15:06~15:38)

座長 菊池 晴彦

- A-31 当大学病院における未破裂脳動脈瘤手術症例の検討
愛知医科大学 脳神経外科 本郷 一博
- A-32 当科における未破裂脳動脈瘤の治療現況
岡山旭東病院 脳神経外科 吉岡 純二
- A-33 クモ膜下出血と未破裂脳動脈瘤の治療成績
福井県立病院 脳神経外科 柏原 謙悟
- A-34 未破裂脳動脈瘤の外科治療
札幌麻生脳神経外科病院 伊藤 文生

動脈瘤 VI (手術成績等) (15:38~16:10)

座長 高久 晃

- A-35 未破裂脳動脈瘤の手術所見
香川労災病院 脳神経外科 藤本俊一郎
- A-36 高齢者の未破裂脳動脈瘤のfollow-up
十和田市立中央病院 脳神経外科 畑中 光昭
- A-37 未破裂脳動脈瘤術後の神経心理学的評価
浜松医科大学 脳神経外科 今村 陽子
- A-38 未破裂脳動脈瘤に対する離脱型コイルを用いた血管内塞栓術
関西医科大学 脳神経外科 坂井 信幸

シンポジウム I (16:25~18:20)

座長 吉本 高志 戸谷 重雄

『 脳ドックにおけるMRAの役割 』

- SI-1 脳動脈瘤のスクリーニングにおけるMR angiographyの役割：
日本磁気共鳴医学会・MRAスクリーニング検討委員会報告を中心に
熊本大学医学部 放射線科 興 梶 征 典
- SI-2 脳動脈瘤に対するMR Angiographyの信頼性について
岡山旭東病院 脳神経外科 土 井 章 弘
- SI-3 脳ドックのMRA経験および外来患者のMRAとの対比
広南病院 脳神経外科 藤 原 悟
- SI-4 脳ドックにおけるMR angiographyの役割
— 脳動脈瘤診断におけるMRAの現状 —
杏林大学 脳神経外科 塩 川 芳 昭
- SI-5 MRAを用いた動脈瘤診断の問題点
— IC-PC 部血管屈曲と動脈瘤の鑑別 —
近畿大学 脳神経外科 北 野 昌 彦
- SI-6 頭部MRAスクリーニングのあり方について
— 日本磁気共鳴医学会MRA委員会の提案 —
中津川市民病院 脳神経外科 古 瀬 和 寛
- SI-7 ウィリス動脈輪閉塞症(もやもや病)の新診断基準における
MRI・MRAの役割
九州大学医学部脳神経病研究施設 外科 池 崎 清 信
- SI-8 MRAによる頸部血管病変のScreening
北海道大学 脳神経外科 宝 金 清 博

A 会 場

平成7年6月18日(日) (第2日目)

頸椎病変 (8:30~9:02)

座長 角家 暁

- A-39 脳ドックにおける頸椎・頸髄画像診断の現状とその問題点
神戸大学 脳神経外科 江原一雅
- A-40 無症候性頸椎症について
市立四日市病院 脳神経外科 伊藤八峰
- A-41 脳検診例に於ける無症候性の頸椎異常(癒合椎及びOPLL)について
小牧市民病院 脳神経外科 雄山博文
- A-42 頭痛患者に認められる頸椎病変
三重大学 脳神経外科 水野正喜

脳ドックの現状 (9:02~9:50)

座長 太田 富雄

- A-43 1995年5月における日本の脳ドックの現状
新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男
- A-44 私立大学病院における脳ドックの試み
久留米大学 放射線科 安倍等思
- A-45 二つの集団における脳ドック検診の比較検討
西宮市立中央病院 脳神経外科 本崎孝彦
- A-46 モービルMRIによる脳の巡回検診—第2報
中村記念病院 脳神経外科 武田利兵衛
- A-47 当院における脳ドックの栄養指導の実際
国立療養所宮城病院 神経内科 成川弘治
- A-48 脳ドックにおける食生活調査と栄養指導の実態
潤和会記念病院 脳神経外科 中野真一

シンポジウムⅡ (9:50~11:35)

座長 篠原幸人 端 和夫

『 脳ドック実施施設における現状 』

- SⅡ-1 「脳検診で発見される脳神経疾患の経過観察調査」経過報告1
日本脳ドック研究会経過観察調査実行委員会 端 和夫
- SⅡ-2 無症候性脳梗塞の症候性への進行—ハイリスク群の診断—
新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男
- SⅡ-3 脳ドックの現状と展望
寺元記念病院 脳神経外科 伊藤 守
- SⅡ-4 中磁場MR装置による脳ドックの問題点
秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科 波出石 弘
- SⅡ-5 企業体病院における脳ドックの現状
日立製作所日立総合病院 脳神経外科 和田美弦
- SⅡ-6 脳動脈瘤検診はハイリスクを中心に、インフォームドチョイスに
臨床判断分析を
兵庫県立姫路循環器病センター 脳神経外科 藤田 稔 清
- SⅡ-7 脳ドックの検査項目と受診者への対処
東海大学 神経内科 高木 繁 治
- SⅡ-8 脳ドックの今後の展望—アンケート調査を元にした解析—
景翠会金沢病院 健康事業部 小吹 優

B 会 場

平成7年6月17日(土) (第1日目)

動脈瘤 I (診断) (8:30~9:02)

座長 神野 哲夫

- B-1 音響学的診断による異常血管音の出現と脳動脈瘤の形態の検討
岩手医科大学 脳神経外科 阿部 深雪
- B-2 無床診療所におけるMRAによる脳動脈瘤の診断と治療の現状
磯部クリニック 磯部 逸夫
- B-3 脳動脈瘤スクリーニングにおける偽陽性・偽陰性例の検討
— 原因とその対策 —
千葉大学 脳神経外科 久保田基夫
- B-4 家族性脳動脈瘤 — その頻度と特徴
蘇生会総合病院 脳神経外科 小島 正行

動脈瘤 II (自然経過等) (9:02~9:42)

座長 田中 隆一

- B-5 最近20年間の未破裂脳動脈瘤の検討
慶應義塾大学医学部 脳神経外科 大泉 太郎
- B-6 未破裂脳動脈瘤の臨床的特徴とその自然歴
山形県立河北病院 脳神経外科 斎藤 博文
- B-7 未破裂嚢状脳動脈瘤の自然歴 — 手術例の転帰との比較から —
千葉大学 脳神経外科 小野 純一
- B-8 未破裂脳動脈瘤スクリーニング — 未処置例の画像診断的follow-up —
松山市民病院 脳神経外科 須賀 正和
- B-9 未破裂脳動脈瘤に対する予防的手術とPitfall
厚地脳神経外科病院 山神 雅之

頸部動脈閉塞性病変 (MRA) (9:42~10:14) 座長 島 健

- B-10 頸部内頸動脈狭窄症のMRA所見
香川労災病院 脳神経外科 高杉能理子
- B-11 頸部2D-TOF MR angiographyの役割
— 頸部内頸動脈閉塞性病変のスクリーニング —
岐阜大学 脳神経外科 郭 泰彦
- B-12 閉塞性脳血管障害の予防におけるMRAの役割
潤和会記念病院 脳神経外科 大田 元
- B-13 椎骨動脈起始部狭窄のMRA所見
香川労災病院 脳神経外科 足立吉陽

頸部動脈閉塞性病変 (3D-CT) (10:14~10:54) 座長 和賀 志郎

- B-14 Helical CT angiographyによる頸部内頸動脈狭窄病変の検索
鷺見病院 脳神経外科 山川弘保
- B-15 造影3D-CTによる頭蓋外内頸動脈狭窄症の評価
— 内視鏡的3D-CTの有用性 —
大阪労災病院 脳神経外科 松本勝美
- B-16 3D-CT angiographyによる頸部内頸動脈狭窄性病変の診断：
スクリーニング検査への応用
札幌医科大学医学部 脳神経外科 大滝雅文
- B-17 冠動脈造影時、同時頭頸部IA-DSAによる頭頸部血管病変の
スクリーニング
愛知医科大学 脳神経外科 岩田欣造
- B-18 脳ドックにおける頸動脈超音波断層検査の意義
— 無症候性脳梗塞との関係について —
財)香川成人医学研究所 長尾修自

動脈瘤Ⅲ (3D-CT) (13:30~14:10)

座長 齋藤 勇

B-19 三次元脳血管CT検査による動脈瘤の発見率

Detection of Cerebral Aneurysms Using 3D-CT Angiography

みつわ台総合病院 脳神経外科 仁瓶博史

B-20 脳動脈瘤検出能及びその形態評価に対するヘリカルCTの応用

藤田保健衛生大学 脳神経外科 明石克彦

B-21 3-D CT angiography (CTA) の脳動脈瘤検出の精密検査法
としての利用可能性

藤田保健衛生大学 脳神経外科 加藤庸子

B-22 MRA・3D-CTAを用いた未破裂脳動脈瘤の診断

とまこまい 脳神経外科 上田幹也

B-23 未破裂脳動脈瘤の画像診断

— 3次元 CT AngiographyとMRA, DSAの動脈瘤描出能比較 —

札幌医科大学医学部 脳神経外科 田邊純嘉

無症候性脳梗塞Ⅴ (血小板凝集能等) (14:10~14:42)

座長 森 惟明

B-24 運動野鉄沈着：脳ドック受診者における頭部MRI運動野
T2低信号域の検討

つくば双愛病院 神経内科 藤田恒夫

B-25 無症候性脳梗塞とストレスの関係 — 脳ドックにおける検討 —

小松島保健所 津田芳見

B-26 慢性期脳血栓症患者における無症候性脳梗塞の増加と
抗血小板薬・血小板凝集能の関連

東海大学 神経内科 浜野 均

B-27 無症候性脳梗塞における血小板凝集能の検討 (第2報)

— 脳梗塞例および脳ドック例での検討 —

健康保険鳴門病院 脳神経外科 津田敏雄

高次脳機能 (14:42~15:30)

座長 金子 満雄

B-28 神経心理機能異常から診断された脳主幹動脈閉塞性病変の12例

浜松医療センター 脳神経外科 中山禎司

B-29 脳ドックの経験から — 高次脳機能検査を中心として —

公立学校共済関東中央病院 脳神経外科 塚本 泰

B-30 T2強調画像における高信号域と大脳高次機能

大分医科大学 脳神経外科 下村 剛

B-31 前痴呆検査としてのP300の有用性

県立広島病院 脳神経外科 井川房夫

B-32 脳ドックを契機に発見された痴呆性疾患

— その follow up と治療効果 —

津生協病院 脳神経外科 笠間 睦

B-33 高齢者における脳室拡大例に対するV-P shunt術の適応

土岐市立総合病院 脳神経外科 熊谷守雄

B 会 場

平成 7 年 6 月 18 日 (日) (第 2 日目)

無症候性脳疾患 (腫瘍等) (8:30~9:02)

座長 久保田紀彦

B-34 脳ドックで発見された脳腫瘍

新須磨病院 脳神経外科 浜崎昌文

B-35 脳動脈瘤手術時に偶然発見された無症候性脳腫瘍の 2 例

社会保険広島市民病院 脳神経外科 西野繁樹

B-36 脳検診例に於ける無症候性の下垂体部異常について

小牧市民病院 脳神経外科 雄山博文

B-37 脳ドックで発見された頭蓋内cystic lesionについて

黒沢病院 脳神経外科 岡田慶一

血管腫・脳出血等 (9:02~9:34)

座長 中川 洋

B-38 脳海綿状血管腫、静脈性血管腫の臨床像

— 特に無症候性血管腫への対応について —

杏林大学 脳神経外科 塩川芳昭

B-39 MRAにて異常なしと判断され、follow up 中に、脳出血や

くも膜下出血をきたした症例の検討

福井総合病院 脳神経外科 辻 哲朗

B-40 脳ドックを受診後 4 日目に発症した視床出血の 1 例

財) 脳神経疾患研究所附属南東北病院 脳神経外科 小泉仁一

B-41 天寿を全うできなかったモヤモヤ病の 1 例

(脳ドック疫学的調査の問題点)

京都南病院 脳神経外科 幸地延夫